

# 『ハマロード知っ得出前講座』進行表

【講座名：1 道づくりの現場へ行ってみよう！  
～道路づくりの効果と身近な工事現場の見学～】

場 所：教室⇒周辺現場

時間	項目	小項目	内容	使用器具・備考
10分 (10分)	自己紹介	◆道路局建設課の仕事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域で道路建設のための設計を行っている。(どんな道路を創るか？どのように造るか？お金はいくら？)</li> <li>道路の渋滞解消や歩行者が安全な歩道の整備を行っている。</li> </ul>	パワーポイント プロジェクター
2分 (12分)	道路の利用目的、役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分達の生活の中でどのような目的で道路を使っているのか。</li> <li>◆道路の役割は何なのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路、物を運ぶ、散歩、バスや車で人が移動。</li> <li>その他：上下水道等ライフラインを収める場所、火事の延焼防止</li> </ul>	
10分 (22分)	道路を広げる(幅の広い道路を造る)理由・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幅の狭い道路はどのような不都合があるのか。</li> <li>◆広い道路の効果について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞発生、車のすれ違いが難しい、歩道が無く(狭く)車と接触しそう。</li> <li>そこで、車線数を増やす、右折用車線を造る、歩道を造る(広げる)。</li> <li>つまり、道路を広げることが解決方法となる。(又は、新しく幅の広い道路を造る。)</li> <li>ある目的地に車で移動するのにどのようなルートを選ぶか？ ケース1：狭い道のみ道路網を使った場合 ケース2：拡幅された道路があった場合 (選択肢が多い⇒遠くに行きたい車を拡幅した道路に誘導される)</li> <li>拡幅された道路があることの効果 (狭い道路＝生活道路からの不要の車両の排除＝交通環境の改善)</li> </ul>	
20分 (42分)	計画的な道路整備	◆横浜全域で計画している幹線道路網について	<ul style="list-style-type: none"> <li>3環状10放射道路を優先的に、その他道路も地域の状況を見て整備を行っている。</li> </ul>	
10分 (52分)	道路拡幅の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆用地買収について</li> <li>◆現道拡幅の場合の工事方法を簡単に説明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道の方々の協力が必要。</li> <li>通行止めは極力避ける。極力市民生活に影響を与えないよう工事を行ううえでの工夫(迂回路確保、夜間施工等)。</li> </ul>	
8分 (60分)	質疑応答			
10分 (70分)	現場への移動時間			
10分 (80分)	現場見学(現道拡幅の工事現場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆現道部の狭い車道・歩道を見学。</li> <li>◆拡幅途上の道路を見学。</li> <li>◆拡幅完了後の道路を見学。</li> </ul>	<p>〔 2～3班(1班10名程度)に分ける 〕 想定現場は約2km～3kmの区間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>狭い道路と車道がどのような問題があるか認識してもらう。</li> <li>交差点部では右折車両が交通流を阻害する状況など、車の流れが悪い状況を見る。狭い歩道の弊害を実感してもらう。(車椅子がすれちがえない等。)</li> <li>用地買収され更地になっている状況や交通の流れを確保しながら工事を行っている状況を見る。</li> <li>沿道の方々の用地協力など地域の協力のうえに拡幅が行われていることを認識してもらう。</li> <li>拡幅の効果を実感してもらう。</li> <li>車線が増えスムーズに車が走れること、交差点部では右折車両が交通流の障害にならないこと、歩道が安全で歩きやすいこと等を確認してもらう。</li> </ul>	
10分 (90分)	学校への移動時間			

※使用器具は道路局でご用意致します。

## 『ハマロード知っ得出前講座』進行表

【講座名：2 君も1日ハマロードサポーター！  
～身近な道路をきれいに、美しく！～】

場 所：教室⇒周辺現場

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具・備考
5分 (5分)	はじめに	◆自己紹介	・市（区）役所の仕事について	バリポイント プロジェクター
10分 (15分)	道路局 について	◆道路局の組織 ◆道路の役割 ◆道路局の仕事 ◆土木事務所の仕事	・どんな役にたっているの？ ・どんなことをしているの？ ・どんな仕事をしているの？ ・君たちはどう思っていた？	
10分 (25分)	ハマロード・ サポーター とは？	◆ハマロード・サポーターの説明	・どういうものなの？ ・どういうことをやっているの？ ・どういう訳でできたの？ ・どういう人たちがやっているの？ ・身近な道路を「きれいにする」ということについて	
10分 (35分)	質問タイム			
40分 (75分)	体験	◆歩道、植栽帯の清掃・花植え	※体験場所の選定については、調整させていただきます。 ※実際のハマロード・サポーターの方々の参加も調整によっては可能です。	軍手 ショベル 花苗 ジョウロ 等
5分 (80分)	まとめ		・体験してどうだったか？	

使用器具は道路局でご用意致します。

# 『ハマロード知っ得出前講座』 進行表

【講座名：3 道路パトロール隊出発！  
～身近な道路を改めて点検してみよう！～】

場 所：教室⇒周辺現場

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具・備考
02分 (02分)	自己紹介	◆横浜市道路局土木事務所	・道路局の所管業務説明 ・土木事務所の業務 要望、陳情の内容・種類（カーブミラー設置、ガードレール設置、舗装の補修、歩道設置、道路の不法占用、道路の清掃、街路樹の剪定、道路を掘削することの許可、道路の拡幅など…）	パワポイント プロジェクター
05分 (07分)	道路の 種類役目	◆国道、県道、市道 ◆交通施設 ◆収容空間 ◆防災空間	・道路の規格、位置づけの説明 ・人の移動、生活物資輸送 ・上下水道、ガス、電気 ・延焼拡大防止、雨水処理	市民利用者 のため
13分 (20分)	道路の 危険箇所	◆要望事例  ◆維持管理上危険箇所 ◆交通事故危険箇所	・要望事例説明 (例えばスクールゾーン協議会からの要望) ・ヒヤリ・ハット実例を子供達から聞く ・舗装、安全施設の損傷等 ・交通事故の状況、見通しの悪い交差点等	
05分 (25分)	日常点検	◆・点検項目 (点検ポイント)	・点検項目、着眼点	
20分 (45分)	交通安全 総点検 (まち歩き)	◆現地点検  ◆ヒヤリハットマップ	・実際に危険箇所等の確認 (子供・先生からの要望箇所 or 土木事務所選定によるルートを点検項目に沿って点検) ・教室で検討するための写真を撮る	カメラ
10分 (55分)	休 憩			
15分 (70分)	点検後の 対策案検討	◆意見交換 ◆対策立案に当たっての課題  ◆歩行者や自転車の義務や責任  ◆安全対策方法  ◆効果測定	・写真を見ながら意見交換を行う。 ・予算の確保（予算額の積算、予算化） ・地域の了解（地権者、自治会、学校等） ・優先順位の検討 ・警察など関係者との連携 ・法令遵守（規則を守る） ・自分の身は自分で守る意識 ・運転者の視点（死角、錯覚、不注意） ・児童から対策案を収集し、それに対する考え方を説明する（効果や問題点） ・現地点検した危険箇所の対策案を掲示する (短期的な対策や中長期的な視点に立って説明) (事例として、小学校近くで交差点改良事業を行って いけば、現状と将来計画を説明) (交通事故原因に応じた安全対策について説明) ・効果の確認の仕方 事故件数の減少、アンケート等	
5分 (75分)	まとめ	◆点検と交通安全	・パトロール等を通して交通安全に対する意識の向上を図る。	
10分 (85分)	質疑応答 アンケート			

※発見した危険箇所で、実際に改善策を講じた場合は、後日報告します。※使用器具は道路局でご用意致します。

# 『ハマロード知っ得出前講座』進行表

【講座名：4 道路と福祉の関係を考えよう！】

場 所：教室

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具・備考
02分 (02分)	自己紹介	◆横浜市道路局	説明担当者の紹介	パワーポイント プロジェクター
15分 (17分)	バリアフリーって何？	◆バリアフリーって何？ ◆人によってバリアは違う ◆バリアを無くすにはどうすればいいか	・バリアフリーの意味 ・障害の種類により、バリアとなるものが違うことを理解してもらう。 ・バリアフリー化の整備事例紹介  [どんな対応が必要か一緒に考えてもらいます。]  <u>説明の流れ</u> Q. 障害により困っている人がいます。どうすればよいでしょうか？⇒A. バリアフリー化による整備事例を説明	
10分 (27分)	まちのバリアフリー化を進めるために	◆なぜまち全体のバリアフリー化が必要なのか ◆まち全体のバリアフリー化を進めるための取組み	・まちの全体のバリアフリー化が進まないと意味がない。 ・まちのバリアフリー化は誰が進めるのか。 ・協力してまち全体のバリアフリー化を進めるための取組  ⇒バリアフリー基本構想策定の取組紹介	
8分 (35分)	私たちにもできる！バリアフリー化の取組？	◆エレベーターや点字ブロックを造っただけではバリアフリーにならない ◆皆さんにもできる「心のバリアフリー」	・点字ブロックの上に自転車が止めてあったら？ ・エレベーターを必要としている人がいます。  ⇒自分たちにもできる。「心のバリアフリー」 ・困っている人を見かけたらどうすればよいか ・高齢者、障害者などへの手助けの仕方  [どんな対応が必要か一緒に考えてもらいます。]  <u>説明の流れ</u> ハード整備を進めただけではバリアフリーにならない ⇒もう一度思い出して！それを必要としている人がいます ⇒どうすればいいか 高齢者・障害者の手助け方法の具体例紹介	
10分 (45分)	質疑応答			

※使用器具は道路局でご用意致します。

※スライドを使用しますので、暗くできる部屋の用意をお願いします。

# 『ハマロード知っ得出前講座』進行表

【講座名：5 横浜環状道路（高速道路）を知ろう！  
～よこかんを知って、高速道路の役割を学ぼう～】

場 所：教室

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具
3分 (3分)	はじめに	◆自己紹介	横浜市役所、道路局の仕事について	パワーポイント プロジェクター
10分 (13分)	道路の知識	◆道路の目的、役割  ◆道路の種類 ◆日本の道路の規模 ◆道路はどのようにつくられるのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路などを利用して移動、物の輸送、ライフラインの収容スペース、防災、街の空間の一部（身近な公共施設である道路が、私たちの生活にどのようにかかわっているか）</li> <li>高速道路、高規格幹線道路、一般道路</li> <li>日本の道路全てを合計した延長、面積</li> <li>計画から測量・設計・工事・維持管理、作るのに必要なお金</li> </ul>	
20分 (33分)	横浜環状道路（高速道路）のつくり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道路整備による変化、効果</li> <li>◆高速道路の役割</li> <li>◆横浜環状道路のつくり方（道路の構造）</li> <li>◆その他、環境対策など</li> <li>◆事例紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜の交通の状況から高速道路の必要性</li> <li>道路の構造（橋・トンネル・地上）の違い、どのようにつくるのか</li> <li>環境にかかわる構造物（換気所、遮音壁）、工事中の対策、トンネルを掘ることによって生じる土の使いみち、環境アセスメントなど</li> <li>写真を用いて、工事の状況等を紹介</li> </ul>	
7分 (40分)	質問			
5分 (45分)	まとめ		<ul style="list-style-type: none"> <li>人と道路の関わりに対する理解を深めてもらい、道路事業（ものづくり）に興味を持ってもらう。</li> </ul>	

※使用器具は道路局でご用意致します。